
【読み切り】I S インフィニット・ストラトス

作者月詠

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

【読み切り】IS インフィニット・ストラトス

【Nコード】

N8481Q

【作者名】

作者月詠

【あらすじ】

インフィニット・ストラトスの読み切りです。

(前書き)

ではどうして

【登場編】

青い海に青い空…白く映える煌びやかな校舎に近代的な街造り…

さて…

どうしてこうなった…orz

私がいるのは【IS操縦者育成特殊国立高等学校『IS学園』】…
学園のほぼ100%が女性という　まあ、ISは女性のみが扱えるので仕方無し　トンデモマンモス校なのだが…何故男の私が来ているのか。

それは…

ウチの阿呆な両親が申し込み先を間違えてここにしたのだよ！！

…まあそのおかげで、ISと出会い、私の人生は真逆に変換した…。

こうして、私…緒方双葉^{おがた ふたば}は歩む。

色々と面倒ごとに引き込まれるとは知らずに…

「間違っても双葉は女じゃございませんよ？」

【自己紹介編】

「では次、緒方双葉」

渡されていたISの本（究極的に分厚い）を読み返していると、機械的な教卓の前に黒いスーツの先生（女性）が私の名前を呼んだ。

恐らく自己紹介だろう。

私は静かに立ち上がって口を開く。

「私の名は緒方双葉。私の前にいる織斑^{おりむら}一夏^{いちか}と同じく男の身でありながらISを扱える者だ。

気軽に接してもらって構わないが、過度な期待はしないでくれ…以上」

…と、言っても無駄だろうなと考えつつ席に座る。

「よし次…」

そのまま自己紹介は終わっていき、休み時間…

「入試以来だな。織斑一夏」

「あ、えつと…緒方だっけ。何だ？」

「名前で構わん。何、これと言った用事ではないが男同士、親交を深めようと思ってな」

「そっか。よろしくな、双葉」

「ああ。よろしく、一夏」

流石に男一人では心細いものがある。
一人二人、友がいても良いだろう。

そうだったよな？
たばね
束師匠…

「天才とマッド？の関係は謎に包まれたまま…」

【IS編】

フフフ…やはりISは面白い。

私の知的好奇心を余すところ無く操る…ああ、早くISを再び操作したい…！

そんな時だった。

「そうですね…ハンデを差し上げますわ。そこにいる、緒方双葉と一緒に戦ってもよろしいですわ」

なん…だと？

あの女性とは確か…セシリア・オルコット、イギリスの代表候補生だったか。

フフフ…

「フフフフフ…フハハハハハハッ！！」

「ふ、双葉？」

「な、なんですか！？」

何と好都合！何という好機！！
量産といえど、ISを…

「ああ、そうだ。その場合、緒方にはある者からの試作ISを、織斑にはこちらが用意した試験的ISに乗ることとなる」

「つ、つまり…専用機というのだな…？織斑先生…！」

「無論、どちらも試験的であるためデータを取る形となるがな」

アッハハハハハハハ！！

神というのは中々粋なものだな！！専用機ともなれば自由に出来るぞ！！

「良いだろうセシリア・オルコット！詳しい話はまったく聞いていなかったが、その決闘…喜んで引き受けよう！！フハハハハハハハ！！！！！！」

「え、ええ…（何ですのこの男…）」

「あ、あれー？（俺は…空気ですか？）」

そして決闘の日…

やはり貴女か束師匠…！（汗）

送られてきたメールを要約すると…

『私の開発手伝ってくれて有難う これはそのお礼だよ』

…とのこと。実際のメールは余計な事が多くて言えないな…。

そして送られてきたISというのが…

《ISそいつの名は【黒神くろがみ】。基本は覚えているようだから省く。事実上ぶつつけ本番だ。頑張れよ》

織斑先生の放送？が終わり、黒い拘束具を模したような機体に触れる。

その瞬間、まるで失っていた半身を取り戻したような、自分が『完全』となった感覚になる。

「黒神…か。フツ…共に頑張ろうではないか。なあ？黒神…」

反応は無い。
だが確かに、肯定したような感覚があった。

主人公紹介

緒方 おがた 双葉 ふたば

IS学園の一年生。

15歳

暗い青髪を下で束ねたアンダーポニーテールで、平均より少し高い身長の少年。

本来、機械工学の公立校に進むはずが、過失なのか故意なのか、両親のミスによりIS学園に通うこととなり、入試会場で一夏と出会い、共にISを起動させる。

ISのコアを創り出した【篠ノ之束】しののたばねを尊敬、師事しており、その影響がISに関することに関してはマッドサイエンティストの如くなる。

基本的には面倒だと判断した事には無関心だが、根がお人好しのため、結局は色々巻き込まれる。

専用ISは『黒神』クロガミ。

黒神 クロガミ

双葉の専用IS。

篠ノ之束から『免許皆伝（何の…？）の証』として送られてきた謎とツツコミ所が満載な第4世代IS。

機体は黒基調で、何かを封印するかのような拘束具を模した外見をしている。

待機形態は左腕を覆う黒いガントレット。

・単一仕様能力
ワンオフ・アビリティー

不明

・武装

『きばうがち牙穿』

左腕と一体化した大きく黒い銃身に、さらに銃身と一体化している鎌のような刀身がある武装。

近、中、遠距離での戦闘が可能。

（見た目は『hack／／G・U』の双銃『DG・X』）

（後書き）

如何でしたでしょうか？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8481q/>

【読み切り】IS インフィニット・ストラトス

2011年10月7日00時45分発行